

事業所保存・閲覧用

(実績報告時の添付書類などには、この表紙ではなく、当機関にご返送いただく
 正本〔評価者の個人名が記載されているもの〕の表紙をコピーしてご使用ください)

平成26年度 東京都福祉サービス第三者評価

2015年3月19日

株式会社小学館集英社プロダクション 御中
 小学館アカデミー昌平保育園

〒 160-0023
 所在地 東京都新宿区西新宿6-15-1
 評価機関名 特定非営利活動法人福祉総合評価機構
 認証評価機関番号 機構 03 - 081
 電話番号 03-6279-0331
 代表者氏名 清水 康之

印

以下のとおり評価を行いましたので、東京都福祉サービス評価推進機構に報告いたします。

評価者 (評価者養成講習修了者番号及び担当分野)	修了者番号		担当分野	
	①	H0702006	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	②	H0702077	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 経営
	③	H0902065	<input checked="" type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	④		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑤		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
	⑥		<input type="checkbox"/> 福祉	<input type="checkbox"/> 経営
福祉サービス種別	認証保育所			
評価対象事業所名称	小学館アカデミー昌平保育園			
事業所連絡先	〒	167-0043		
	所在地	東京都千代田区外神田3-4-7昌平童夢館1階		
	TEL	03-3526-3621		
事業所代表者氏名	岩波 俊子			
契約日	2014年	8月	1日	
利用者調査票配布日(実施日)	2014年	9月	1日	
利用者調査結果報告日	2014年	11月	20日	
自己評価の調査票配布日	2014年	8月	27日	
自己評価結果報告日	2014年	11月	20日	
訪問調査日	2014年	11月	28日	
評価合議日	2014年	11月	28日	
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	利用者調査では開始時に調査の趣旨や第三者評価制度の概略を記した依頼状、園内掲示用のポスターなどで理解促進を図り、開始後には回収率向上のため提出御礼と未提出者への呼びかけをかねたチラシを全対象者に配付した。また開始時の説明で評価項目への理解が深まるよう配慮したり、各標準項目の振り返りを的確に行うための独自資料を提供するなど、事業所が自己評価を行うにあたっての疑問や不安を軽減できるようにしている。			

1	<p>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あたたかい心を持つ子どもに育てる保育 ・「おもいやり」が育つ保育 ・「生きる力」をはぐくむ保育 ・「好奇心」をのばす保育 ・「経験」「体験」を大切にす保育
2	<p>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>プロ意識をもって仕事ができ、社会人として良識があり、向上心を持ち続ける職員。また、組織人として自覚をもち自己管理できることと、すべての人に気持ちよいところで、接することを心がけられる職員。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>「あたたかい心をもつ子供に育てる保育」の基本理念の下に、命を大切に勤務し、保育士としての自覚と一生懸命行う姿勢を持ち、協調性を大切にできること。</p>

調査対象

調査開始時点での本園の利用世帯23(在籍児童数23)を対象として実施した。なお、兄弟姉妹がいる世帯は1世帯として扱った。

調査方法

調査票及び調査項目は標準内容のほか独自の質問も加えた。
回収は事業所と協議のうえ郵送または郵送と事業所内での回収との併用にて行い、結果は選択式・自由記述とも園に報告した。自由意見については回答者の匿名性に配慮し、表記の加工などの処理を適宜行った。

利用者総数

23

共通評価項目による調査対象者数

23

共通評価項目による調査の有効回答者数

16

利用者総数に対する回答者割合(%)

69.6

利用者調査全体のコメント

総合的な園に対する満足度は「大変満足」56.3%「満足」37.5%の計93.8%と高い値を得ており、設問別では「保護者との信頼関係」「整理整頓・清潔」「子どもの気持ちの尊重」など全16問中11問で80%台～100%の高い支持を得ている。自由意見では「小規模園で一体感があり、別クラスの先生も子どもをかわいがってくれ、セレクト保育も子どもは楽しんで参加でき、食育もクラスごとの取組が素晴らしい」「若い先生が明るい雰囲気、園長以下年かさの先生がきちんとした空気を作ってくれ、イベントや制作物も上手でとてもかわいらしく、学習プログラムがきちんとしていて子どもたちの習得レベルも高いようだ」「食育に力を入れ、毎月工夫して各クラスに合ったプログラムを提供してくれ、セレクト保育で英語教育ができ、先生方がしっかりと子どもの様子を見て何を求めているか理解しようとしてくれる」「自由遊びに加えて教育的な関わりもあって非常にバランスがとれており、先生方の対応も丁寧で安心して子どもを預けられる」などの声が寄せられている。
さらなる向上を望む意見としては保護者の負担や就労等への配慮、利用終了後の支援継続や職員体制に関する事などが見られた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	13	2	0	1
実質的な満足度(「無回答・非該当」を除いた割合・以下同)は、「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が13.3%となっている。 自由意見は3件で、「給食がおいしく、野菜嫌いの子にも食べやすいように工夫されている」のほか、提供量や発達差への対応について、さらなる配慮を求める意見が見られたが、実数値からは概ね支持を得ているものと考えられる。				
2. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	14	1	1	0
「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が6.3%、「いいえ」が6.3%となっている。 自由意見は戸外遊びの充実や子どもへの援助について、さらなる検討を望む声が2件寄せられているが、実数値からは概ね支持を得ていることがうかがえる。				
3. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	10	1	2	3
「はい」が76.9%、「どちらともいえない」が7.7%、「いいえ」が15.4%となっている。 自由意見は3件で、「急な時間変更にも柔軟かつすぐに対応してくれてとても感謝している」「登園時間や電車遅延などの緊急時には手厚く柔軟に対応してくれる」のほか、延長保育利用などのさらなる利便性向上を望む声が見られる。				

4. 安全対策が十分取られていると思うか	13	2	1	0
「はい」が81.3%、「どちらともいえない」が12.5%、「いいえ」が6.3%となっている。 自由意見は外部侵入対策のさらなる向上を望む内容が2件寄せられているが、実数値からは概ね信頼を得ているものと考えられる。				
5. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	10	6	0	0
「はい」が62.5%、「どちらともいえない」が37.5%となっている。 自由意見は3件で、「ある程度余裕をもって告知されている」のほか、行事の日程等の設定や伝達について、保護者の負担や就労等へのさらなる配慮を望む声が寄せられている。				
6. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	15	1	0	0
「はい」が93.8%、「どちらともいえない」が6.3%となっている。 自由意見は職員の子どもへの接し方等について、さらなる向上を求める声が1件寄せられているが、実数値では保護者からの高い信頼が示されている。				
7. 保護者の考えを聞く姿勢があるか	15	1	0	0
「はい」が93.8%、「どちらともいえない」が6.3%となっている。 自由意見には記入がなかった。				
8. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	16	0	0	0
有効回答者16人全員(100%)が「はい」と答えている。 自由意見には記入がなかった。				
9. 職員の接遇・態度は適切か	13	2	1	0
「はい」が81.3%、「どちらともいえない」が12.5%、「いいえ」が6.3%となっている。 自由意見は3件で、「丁寧な言葉遣いでよいと思う」のほか、職員の日頃の接遇マナーや子どもへの接し方について、さらなる配慮を望む意見も見られるが、実数値からは概ね支持を得ているものと思われる。				
10. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	13	2	0	1
「はい」が86.7%、「どちらともいえない」が13.3%となっている。 自由意見は3件で、「一日の流れや子どもの具合を伝えてくれる」「すぐ冷やしてくれたりして、とても迅速丁寧だと思う」のほか、ケガや体調不良時の対応について、さらなる情報提供を望む声が見られる。実数値からは概ね信頼を得ているものと考えられる。				

11. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	12	1	1	2
<p>「はい」が85.7%、「どちらともいえない」が7.1%、「いいえ」が7.1%となっている。 自由意見は2件で、「危ないことをした時、きちんと真剣に叱ってくれているのを見て安心した」のほか、子ども間のいさかい等の際の本人たちへの対応について、さらなる配慮を求める声も見られた。実数値からは概ね信頼を得ていることがうかがえる。</p>				
12. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	15	1	0	0
<p>「はい」が93.8%、「どちらともいえない」が6.3%となっている。 自由意見には記入がなかった。</p>				
13. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	11	3	0	2
<p>「はい」が78.6%、「どちらともいえない」が21.4%となっている。 自由意見はプライバシー保護等へのさらなる配慮を望む内容が2件寄せられている。</p>				
14. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	14	2	0	0
<p>「はい」が87.5%、「どちらともいえない」が12.5%となっている。 自由意見は保育内容に関する報告・説明について、さらなる配慮を望む声が2件寄せられているが、実数値からは概ね支持を得ているものと考えられる。</p>				
15. 利用者の不満や要望は対応されているか	11	3	0	2
<p>「はい」が78.6%、「どちらともいえない」が21.4%となっている。 自由意見は2件で、「現場の先生方は対応してくれていると思う」のほか、不満や要望への対応について、さらなる配慮を望む声も見られる。</p>				
16. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	6	2	1	7
<p>「はい」が66.7%、「どちらともいえない」が22.2%、「いいえ」が11.1%となっている。 自由意見には記入がなかった。</p>				

I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
	9/9	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している	
	評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど)	
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している	
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
カテゴリ1の講評		
<p>系列園共通の保育理念・方針や保育目標を保護者・職員に表明し、その周知を図っている</p> <p>系列園共通の保育理念と基本方針・保育目標をパンフレット・ホームページ(以下「HP」)などの各種媒体・資料に記載し、玄関その他園内各所にも掲示している。保護者には入園時の説明のほか折々の保護者参加行事などで関連づけた話をするなどして浸透を図っている。職員には入職時の配属前研修をはじめとする社内の各種研修のほか、保育課程や年間事業計画への記載、新年度開始前の年間指導計画作成などの機会に確認を促すとともに、事務室内ははじめ各所での掲示によって日常的な再想起を図っている。</p> <p>園長が所定の職責のもとで園を統率し、併設施設との連携や組織の活性化に努めている</p> <p>系列全園共通の「施設運営業務マニュアル」中に園長以下の各職位の職責や権限を示し、入職以降の各研修や同マニュアルの「活用の手引き」に付記された指導のポイントなどでも役職ごとの監督・指導力発揮が促している。今年度着任した園長は「幼保一体型」という施設の特性を発揮し、併設の幼稚園へのスムーズな接続によって子どもの成長を連携して支える仕組みづくりを当面の課題と考えている。また職員に対して性急に結果や成長を求めるのではなく、自主性を尊重して積極的に現場の発想を運営に活かし、組織の活力とすることを大切にしている。</p> <p>園内・系列園全体の各単位で、意思決定と関係者への周知手法が定められている</p> <p>系列園共通の重要事項は各園園長が出席する運営事務局の会議や随時の発信等で各園に伝えられ、園内における日常の重要案件は内容や緊急性により、毎月の職員会議や随時の打ち合わせ等で検討し、欠席者や非常勤職員には口頭報告及び記録の閲覧によって伝えることとなっている。案件に応じ、保護者代表などから構成される運営委員会の意見も尊重している。各決定事項やその経緯などは書面の掲示・配付や運営委員会等を通じて保護者に伝えられている。</p>		

カテゴリ-2	
2 経営における社会的責任	
サブカテゴリ-1(2-1)	
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	
サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している	
評点(〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている	
評点(〇〇)	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している

サブカテゴリー2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>職員一人ひとりに自覚と自戒を促すための機会がさまざまに設けられている</p> <p>常勤職員には運営事務局による配属前研修で職位ごとに求められる職員像や使命、行動目標などが伝えられ、非常勤職員にも別途研修が課されているほか、「施設運営業務マニュアル」にも子どもの人権への配慮などが具体的な言動の事例とともに示されている。園内でも子どもへの接遇の向上を組織としての重要なテーマとし、会議での随時の指導など、継続的な啓発に努めている。また「1年間の目標発表」として、年度当初に各職員が自身の行動・あり方などについて年間の目標を立て、日常の実践を経て年度末に成果発表を行う取組を設けている。</p> <p>地域で子育てをする家庭へのイベント提供などを行い、透明性確保にも努めている</p> <p>専門家を招いての絵本読み聞かせ「おはなし玉手箱」を実施し、地域の未就園世帯や併設の幼稚園の園児・職員などの参加を得ているほか、運動遊びや制作などを提供する園開放を開催している。今後は夏祭りの地域開放も検討したいと考えているほか、「おはなし玉手箱」はより積極的な広報と会場の拡大によってさらに利用促進を図る意向である。第三者評価受審のほか事業者のHPや園のブログ、千代田区の各種媒体での情報発信、同じ複合施設内にある児童館の掲示板等での上記各イベントの広報など、透明性の確保にも努めている。</p> <p>地域の諸機関との協働を積極的に行い、併設の幼稚園との連携強化などもなされている</p> <p>昌平地域のコミュニティ会議や同施設内の館内連絡会に参加し、地域内及び施設内の協働活動や安全管理などに関する情報共有を行うほか、区の認可・認証保育施設連絡会では国・自治体の保育政策、区内の保育所同士の交流などに関する話し合いに加わっている。また園長が併設の幼稚園に働きかけ、幼稚園の職員が来園して子どもの活動などを視察したり、幼稚園の公開保育や運動会に招かれるなど、子どもの成長支援に向けた連携の強化に結びつけている。ボランティア等は系列園共通のマニュアルと説明書面等に基づいて受け入れることとなっている。</p>		

カテゴリ-3	
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用	
サブカテゴリ-1(3-1)	
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している	
サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) 評点(〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている
●あり ○なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる
●あり ○なし	○非該当
●あり ○なし	○非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる
●あり ○なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している
●あり ○なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる
●あり ○なし	○非該当
●あり ○なし	○非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している 評点(〇〇〇)	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる
●あり ○なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる
●あり ○なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している
●あり ○なし	○非該当
●あり ○なし	○非該当
カテゴリ-3の講評	
さまざまな機会に保護者の個別の意見を把握し、対応に向けた検討を行っている 運営事務局と区担当課を個別の要望・苦情等の申し出先として、入園時の説明や玄関での掲示によって保護者に周知を図り、意見箱も設置している。また区のオンブズパーソン制度も活用が促されている。毎日の送迎や面談・懇談会、運営委員会などの保護者との直接対話の機会も個別の意向把握の場とし、寄せられた声に対しては職員間の検討と運営事務局との連携のもとで、案件ごとに誠実な対応と解決に努めている。昨年度まで実施していなかった土曜保育について、保育参加で寄せられた意見も踏まえて9月から開始するなど、意見の活用事例も見られる。	
各種のアンケート機会を通じて保護者の声を採り入れ、さまざまな改善に結びつけている 保護者参加の行事のつど開催後にアンケートを行い、次年度の企画の参考としており、継続的に行う第三者評価受審を通じた利用者調査も意向把握の機会としている。例年近隣の公園で行っていた運動会を保護者の意見も踏まえて施設の屋上校庭で行い、天候による日程変更の懸念を解消したり、ハロウィン・夏祭りを新たに保護者参加可能としたり、今年度は敬老会を園児の祖父母を招いて、より子どもたちが楽しく交流を持てるようにするなど、保護者の声を保護者の利便向上や保育活動の質の向上に活かしている。	
地域の状況や保育の制度・施策の動向を把握し、運営や園の方針決定の参考としている 見学者などから園周辺の未就園家庭の要望等を把握するほか、待機児状況など区内の保育ニーズ、自治体や国の保育政策・制度の動向については主に前述の区の保育施設連絡会を通じて把握している。来年度施行予定の子ども・子育て新制度など、保育の制度・政策に関する情報は回覧などによって職員にも伝えられ、園の今後の方向性を伝える参考とされている。また地域のコミュニティや施設内の児童館などから園に対してイベント参加の誘いを受けることも増えてきており、在園世帯の理解を得て交流を深めることが検討課題となりつつある。	

4 カテゴリー4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリー1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		4/4
評価項目1 利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
<p>中・長期的及び年度の重点課題を定め、短期の各活動も計画のもとで行っている</p> <p>系列園共通の書式で今年度までの3か年計画を作成しており、保育の質の向上と人材育成・施設環境の安全確保、地域との交流及び園の特性を踏まえた幼稚園・小学校や行政との連携を重点項目とし、各分野について今年度の取組を年度事業計画に示している。その他年度単位の計画として行事や各種防犯防災訓練に関するものが作成され、配付や掲示によって組織内に周知がなされている。短期の活動のうち、行事や各種訓練については実施のつど所定の様式に役割分担や手順・ねらいなど実施計画を立案し、実行している。</p> <p>内外の先取的な取組を積極的に採り入れ、自園のものとする機会が設けられている</p> <p>運営事務局会議や同事務局からの随時の発信によって系列園を含む他園・業界内の事例が伝えられ、各園の改善につなげられる仕組みとなっている。また自社開発の知育プログラム「楽習保育」の各活動の実践手引「レシピ」について、保育・食育・看護の3分野で各園に提供を促し、各園の知見を系列園全体で共有できるようにしている。園内でも職員が系列または区立の他園などへ出向いて視察する取組を奨励しており、自園や自身の保育環境設定や子どもへの接遇、保育活動などについて振り返る機会を得られるようにしている。</p> <p>災害・緊急時の対応やケガ等の再発防止など、安全確保に向けた取組を行っている</p> <p>毎月の防災訓練では散歩中など実践を想定したさまざまなケースで行うほか、立地する施設内の館内一斉訓練にも参加しており、保護者とも園児の引き渡しを踏まえた訓練も行っている。各室には危険箇所を示したマップを掲示し、随時追記がなされており、ケガ・かみつき等は受診治療の有無を目安に所定の様式に記録し、直後の昼礼などでの報告によって共有と再発防止を図っている。また事務室内には警察・消防等への緊急通報、トイレや各室には汚物の衛生処理など、必要の際の即時対応のための各種手順書を掲示している。</p>		

カテゴリー5		
5	職員と組織の能力向上	
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	○非該当
●あり ○なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	○非該当

サブカテゴリー2(5-2)																
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7															
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる	評点(〇〇〇)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当				
評価	標準項目															
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当														
評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる	評点(〇〇〇〇)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> <tr> <td> <input checked="" type="radio"/>あり <input type="radio"/>なし </td> <td>4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/>非該当</td> </tr> </tbody> </table>	評価	標準項目		<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価	標準項目															
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当														
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当														
カテゴリー5の講評																
<p>求める職員像や育成・評価の指針、配属・配置の決定手順などが定められている</p> <p>運営事務局が「採用会議」において系列各園の職員体制や就業状況などを検討し、これをもとに人材の獲得を行っている。今年度は「採用育成課」を新設して職員の確保・育成機能の強化を図っている。保育事業者としての職員育成・評価の基本指針として【「こどもの専門家」としての行動目標】を定め、成長段階・職種ごとの求める要素・資質や昇級の際の選考基準を示している。採用後の配属は本人の希望・利便と各園の状況を踏まえて運営事務局が決定し、園における配置は各職員の経験・希望と園内全体の状況から園長が決定することとなっている。</p> <p>職員一人ひとりの目標設定や内外の研修による資質向上により、人材育成が図られている</p> <p>常勤職員には「個人能力向上シート」による個別の目標管理を行い、各職員の課題・目標と必要な研鑽等を定め、半期ごとの達成評価を行う仕組みが設けられている。今年度当園では職員の意見も踏まえ、これに代えて前掲の「一年間の目標発表」によって各人の自己研鑽と成長を促している。運営事務局が職位・職種ごとに研修を整備し、系列全園の職員が経験や職種・専門性に応じて必要な研鑽を積む仕組みを整えており、当園からも参加が促されている。また保育所関連の死亡事故や応急手当、感染症など安全衛生面を中心に園内研修も持たれている。</p> <p>現場の知見の共有・活用や各職員の働きがいを向上させる配慮などに取り組んでいる</p> <p>小規模組織の機動性を活かし、職員の話し合いなどによって現場の着想や課題認識を共有し、保育室の棚の下の小スペースへのホワイトボードの設置や毎日子どもに問いかけて話を聞き、それを保護者に伝える試みなど、保育の活動・環境に積極的に活かしている。事務室内には園長不在時の連絡方法を掲示して個人の裁量で判断が困難な事案への対応を示すほか、園長・運営事務局による職員の意向把握や各種の福利厚生など職員の適正処遇の確保が図られている。園においても現場の提案の積極的な活用などによってやる気や働きがいの向上に努めている。</p>																

7		カテゴリ-7	
情報の保護・共有			
サブカテゴリ-1(7-1)			
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している		○非該当
●あり ○なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		○非該当
評価項目2 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		○非該当
●あり ○なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		○非該当
●あり ○なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		○非該当
●あり ○なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		○非該当
カテゴリ-7の講評			
<p>各種書類・データの漏洩や不正な利用を防止するための措置をさまざまに講じている</p> <p>重要な書類は事務室で保管し、秘匿性に応じて施錠可能な書棚で管理するとともに、保存年限等に沿って随時移動や廃棄を行い、管理状況を更新している。PCにはパスワード、社内ネットワーク全体でも職階などに沿ったアクセス権限を設定し、不正なログインを防ぎ、必要な人間が必要な情報のみにアクセスする仕組みを定めている。また書類・データとも園外への持ち出しは禁止とし、PCには外部記憶媒体の使用防止の設定を行うことで、情報漏洩防止の徹底を図っている。</p> <p>保護者に子どもの肖像を含む個人情報の利用目的などを伝え、書面による承諾を得ている</p> <p>個人情報利用について、保護者には個人情報利用に関する同意書様式を整備し、利用目的や第三者提供及び写真等のブログ、広報配布物における活用と目的、ウェブ上での写真掲載及び緊急連絡について、入園時に保護者への説明と承諾確認を行っている。また本社のHPIに「個人情報保護基本方針」として、情報の取得・利用にあたっての基本姿勢が掲載されている。開示請求への対応についても同サイトに掲載されており、園内における保護者への積極的な明示については、望ましいあり方の検討を課題としている。</p> <p>職員・関係者に個人情報保護を徹底させるためのさまざまな啓発機会を設けている</p> <p>系列園共通の関係規程及びマニュアルにおいて、情報の管理及び事故発生時の対応など、個人情報の取り扱いにおいて職員が自覚・実践すべき心得や手順全般が示されており、入職以降の各研修や運営事務局からの随時の通達等によってこれらの徹底を促すとともに、常勤・非常勤とも入職時に誓約書の提出を課している。またソーシャルメディア上での守秘・プライバシー保護についても複数の機会に注意が促されている。ボランティア・職業体験生等には受け入れ時の説明と申請書への記載によって守秘義務の遵守を求めることとされている。</p>			

カテゴリ－8	
8	カテゴリ－1～7に関する活動成果
サブカテゴリ－1(8-1)	
前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ－で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ－1:「リーダーシップと意思決定」 ・カテゴリ－2:「経営における社会的責任」 ・カテゴリ－4:「計画の策定と着実な実行」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
併設の幼稚園との連携強化をはじめ、運営全般において種々の改善を図っている 今年度は「1年間の目標発表」として年度当初に常勤各職員が自身の行動・あり方からクラス運営上の指針まで、それぞれに年間の目標を立て、日々の執務において実践に努めて年度末に成果発表を行う取組を行い、各人の自覚と自己啓発を促している。また懸案であった併設の幼稚園との子どもの成長支援における連携強化に向け、園長が同園に働きかけ、職員が来園して行事の打ち合わせへの参加や子どもの活動の視察などを行い、当園の職員も同園の公開保育や運動会に招かれるなどの具体的な成果を得ている。さらに系列や他の区立園などにも職員が見学に出向き、保育の環境や活動、子どもへの援助などについて、自身の振り返りや自園へのフィードバックを行う機会としている。 その他系列園共通の改善として、独自開発の乳幼児向け知育・教育プログラム「楽習保育」の在園保護者向けPR冊子を制作し、理念・方針等への理解を深めることにもつなげたり、職員に対しては配属前研修を充実させ、SNS上での守秘義務徹底などをより明確に伝えるようにしている。また災害時用の伝言板サービスに園外活動用の携帯電話からもアクセスできるようにし、有事の際の連絡体制を強化している。	
サブカテゴリ－2(8-2)	
前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ－で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ－5:「職員と組織の能力向上」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
園内研修をはじめとする研鑽・指導の仕組みが職員の資質向上を支援している 園内研修による研鑽機会が持たれており、厚生労働省の資料をもとに、保育施設においてあってはならない死亡事故について、自園の環境も踏まえて傾向と対策を考えたり、応急手当やプール遊び・感染症など、安全衛生面を中心に啓発がなされている。また運営事務局による系列園共通の改善として、「保育アドバイザー」「専門職サポーター」の選任による系列各園の保育環境・実践や栄養士・看護師・事務職への指導力強化、入社3か月後の「新卒入社フォロー研修」新設や部内での「採用育成課」設置など、人材の確保・育成の機能強化が図られている。	
サブカテゴリ－3(8-3)	
前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している	
評価項目1	
前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリ－で評価される部分について、改善を行い成果が上がっている ・カテゴリ－6:「サービス提供のプロセス」 ・カテゴリ－7:「情報の保護・共有」	<input checked="" type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない <input type="radio"/> 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない
改善の成果	
情報の保護・管理、保育の行事・環境や保護者との交流などにおいて改善・進歩している 情報管理面では、園内での所定の保存年限等に基づく書類の移動・廃棄のほか、系列各園で携帯の紛失リスク等を想定し、職員あてのメールを共有サーバ内へのパスワードログインにより閲覧する方法に切り替えている。また個人情報保護やSNS上での守秘義務厳守について、研修やメールによるさらなる注意喚起を行っている。 保育の面では、ハロウィンや夏祭りを保護者参加行事とし、敬老の日には子どもたちの祖父母を招くなど、保護者等が行事を実際に体験できる機会を充実させるほか、運動会を屋上の校庭で行い、幼稚園と行事等で交流するなど、地域との連携も深めている。また職員の提案をもとに子どもたちに毎日質問して言葉のやり取りを楽しむとともに、会話の内容は書き留めてお迎えの際に保護者に伝え、子どものその時々のお気持ちや考えなどを保護者と共有できるようにしている。さらに各クラスの玩具やコーナー設定などの工夫を継続的に行って子どもが遊び込めるようにするとともに、1・2歳児の睡眠環境を見直し、一人ひとりのスペースを確保して睡眠や生活リズムの安定を図り、災害時の迅速な避難を考慮して昼寝時のパジャマ着用をなくすなど、環境や生活・安全面でも改善を行っている。	

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

適正な購入・支出や日常的な経費節減に取り組み、収支バランスの最適化に努めている

区所管の施設という園の特性上、区の予算のもとで運営され、区からの措置によって子どもが入園する仕組みとなっているため、いわゆる集客努力とそれによる利用者及び収入の増加というサイクルは想定されていない。系列他園同様、本部運営事務局との連携のもとで毎月の収支状況が管理され、全園共通の購入・支出基準に基づいた適正な財務管理が図られている。また子どもの処遇等に影響が及ばない範囲で、節電・節水や不要不急の調達排除、購入方法・店舗の吟味などに取り組み、日常的な経費抑制に努めている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している
・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の声に耳を傾け、寄せられた意見や要望を運営や保育に反映させている

さまざまな機会・窓口によって保護者の個別または全体の意向を把握し、運営や保育・行事の改善・質向上に反映させている。9月からの土曜保育開始、運動会の会場変更による雨天順延の解消など、保護者の就労支援や負担軽減を図るとともに、ハロウィン・夏祭りを新たに保護者参加可能としたり、敬老会を園児の祖父母を招いて、より子どもたちが楽しく交流を持てるようにし、保護者等にも園の保育や子どもの姿をより実感をもって知ってもらえるようにしている。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の見学があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所のサービス利用が困難な場合には、理由を説明したうえで、他の相談先紹介など支援の必要に応じた対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>園の概要や保育の特色を掲載した大小2種類のパンフレットを入園希望者に提供している</p> <p>入園希望者向けのパンフレットが2種類制作され、系列の認証・幼保一体施設等共通のA3二つ折り版には全園で展開する乳幼児向け知育・教育プログラム「楽習保育」のエッセンス、保育理念「あったかい心をもつ子どもに育てる」や基本方針・保育目標などを掲載し、これに当園の情報を記載したA4両面版を添えて手渡している。いずれもイラストや写真を活用した親しみやすいデザインとし、保育事業者としての思い、園での生活を通じて子どもが獲得する発達・成長、園の概要などを端的に伝えている。</p> <p>行政や連携する施設内の掲示、ウェブサイトなどを通じて園の概要や特色を発信している</p> <p>千代田区の各種媒体、園の所在する区の施設内での掲示等によって、所在地・連絡先などの基本情報や地域向けの開放イベントの広報を行っている。また事業者のウェブサイトにも当園のページが設けられ、アクセスや開所時間・定員その他の概要情報のほか、ブログで子どもたちの園での活動や暮らしぶりを発信している。なお当園は他の連携施設とともに千代田区が設置した幼保一体施設を構成し、利用決定は区からの措置によって行われるため、他の認証保育所とは異なり、園が主体となった利用者の募集行為は想定されていない。</p> <p>希望者の都合に応じて見学の依頼を受け入れ、園の特色や利用の仕組みを伝えている</p> <p>見学は平日または土曜保育実施時に受け入れ、10時半と15時半からを原則としつつ、保護者の要望に応じて柔軟に日時を設定し、来園を依頼している。対応時には室内の環境を案内しながら各年齢の保育の特徴や方針などを説明し、質問に答えている。2歳児までの園のため、3歳児以降の幼稚園等への接続の流れなどについて丁寧に伝えるほか、一部平日開催を含む年間主な行事、「楽習保育」による教育面の保障などについても積極的に説明するようにしている。</p>		

サブカテゴリー2		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの支援に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評			
<p>入園前には園の保育の特色や今後の園生活での留意点など詳細な説明を行っている</p> <p>入園が決まった方には、「入園のしおり」等を用いて保護者に説明をしている。同しおりに沿って全文を確認しながら、園の保育の特色や幼保一体型の園であることのほか、持ち物や怪我・感染症に対する説明に加え、園からの依頼事項や集団生活における約束事などについても伝えている。質疑応答を丁寧に行い、保護者と園との理解共有につなげるとともに、これらをもって保育開始への同意としている。また掲示物・広報物やホームページ等への子どもの写真の掲載については書面で承諾確認をしている。</p> <p>面談によって子どもの個別状況を把握し、その後の支援へと活かしている</p> <p>保護者から記入を受けた「面談票」をもとに園長が面談を行い、子どもや家庭の状況を把握するとともに、別途提出される書類からも予防接種や既往歴、家庭での生活リズムや食事、好きな遊びや家庭の育児方針や要望などを個別に把握し、入園後に情報の変更があった場合は随時修正している。また離乳食進行表でアレルギーや体験した食材などを確認し、入園後もこれを活用して進行管理にあたっている。入園手続き一覧表には「慣れ保育」の期間設定や提出書類のチェックを行うほか、面談時の保護者からの要望等を記載している。</p> <p>子どもや保護者の不安解消と利用終了後の支援に努めている</p> <p>入園直後には子どもの状態や保護者の勤務状況に応じて保育時間を調整する「慣れ保育」を行い、徐々に長時間保育に移行することで子どもの負担を軽減している。食事や睡眠などについては一人ひとりの生活リズムに応じて支援し、送迎時の報告や連絡帳など家庭との連携にも配慮している。これらの情報はクラス内での共有に加え、昼打ち合わせや職員会議でも話し合わせ、園全体で新入園児を見守れるようにしている。なお、利用終了後の支援として、退園児を行事へ招待したり、幼保一体型であるため、幼稚園との交流でもつながりを持つようになっている。</p>			

サブカテゴリ3		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	12/12
3	個別状況に応じた計画策定・記録		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 子どもの様子や保護者の希望、関係者の意見を取り入れた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画は、子どもの様子や保護者の希望を尊重して作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画を保護者にわかりやすく説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 計画を緊急に変更する場合のしきみを整備している		<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する情報を過不足なく記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画に沿った具体的な支援内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画の内容や個人の記録を、支援を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3の講評		
<p> 保育課程等を踏まえ、年・月・週の指導計画へと具体的に展開している 保育課程等を踏まえ、年・月・週の指導計画へと具体的に落とし込み、会議等での振り返りによって次の計画に反映できるようにしている。特に0歳児は発達差や個人差があることを考慮し、保育課程において、6ヶ月未満と以上(高月齢と低月齢)の2つに分けて、ねらいや内容を記載しており、年間指導計画においても保育課程と合わせて、高月齢と低月齢でそれぞれ作成し、活動の中でもそれぞれの発達状況に応じてスペースを区切るなど、それぞれが安全に遊び込めるように配慮をしている。 </p> <p> 保護者に子どもの成長や今後の方針などを示し、目的を持った日々の活動を実践している 日々の活動において、週案では雨天時の場合も想定した活動を記載して、戸外活動や室内活動などを採り入れるなど、さまざまな遊びがねらいを持って展開できるように工夫がなされている。また実施後の様子は保育日誌に記録するとともに、翌日の活動へとつなげられるようにしている。保護者に対しては、運営委員会や保護者会でクラスの方針や今年度の取組などを伝えるほか、専門講師による「ドラキッズ」実施後は、活動のねらい等がわかるようにホワイトボードで説明がなされ、保護者の理解を深められるようにしている。 </p> <p> 職員会議等での意見交換や情報共有を密に図り、園全体での個別支援に活かしている 職員会議では各クラスの報告書によって健康・食事・着脱・遊びなどの子どもの様子、来月の課題などに加え、子どもの状況や家庭での様子、配慮事項などを共有することで園全体で個別への対応に努めている。「昼打ち」も毎日実施しており、「職員昼打ちノート」にケガやヒヤリハットも含めて個別の健康状態や生活の様子、その他の伝達事項を共有できるようにしている。なお、事務所には0歳児クラスの「職員昼打ちノート」を常備することで、パート職員が出勤時にこれを確認することで情報共有をできるようにしている。 </p>		

サブカテゴリー5		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)
評価 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	標準項目 1. 子どもに関する情報(事項)を外とやりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得ようとしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)
評価 <input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	標準項目 1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、放任、虐待、無視等が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に予防・再発防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー5の講評		
<p>個人情報の取り扱いや子どもの羞恥心などにさまざまな配慮をしている 個人情報の取り扱いについては「個人情報の外部提供に関する同意書」を入園時に確認するほか、外部とのやり取りが生じる場合はそのつど保護者に確認することとしている。子どもの羞恥心への配慮として、オムツ替えの際にはパーティションを用いるほか、トイレは部屋の奥に配置されるなど、園外を含む周囲の視界を防げるよう環境・援助両面での配慮をしている。また夏の時期には共有スペースで水遊びをしており、木々の茂みで周辺の視線が遮られたり、子どもがTシャツを着るなどの配慮がなされている。</p> <p>子ども一人ひとりの尊厳や各家庭の価値観等に配慮した支援に努めている 入園以降の保護者とのコミュニケーション機会に各家庭の状況や保護者の意向を随時把握し、それぞれの価値観や生活習慣に対して園としてできる個別の配慮に努めている。また会議等で各園児の状況を共有し、個別の計画のもとで必要な配慮や援助を明確にし、一人ひとりを尊重した支援を図っている。子どもへの接遇に関しても会議の場で随時啓発がなされており、子どもの呼び方や声のかけ方、禁止・制止の言葉を控え、肯定的な言葉で働きかけることなど、子どもの意思や尊厳に配慮した接し方について、職員の自戒を促している。</p> <p>区の仕組みも活用し、虐待等の早期発見と実際の事例への適切な対応を図っている 臨床心理士資格を持つ区のスクールカウンセラーが定期的に来園し、発達支援だけでなく虐待・育児困難等の兆候も含めた観点で子どもの様子を観察してもらう仕組みが設けられている。また保育者も送迎や着脱用の際に子ども・保護者の様子に気を配り、虐待等の早期発見に努めるとともに、実際の事例を踏まえて会議・昼礼等で情報を共有し、組織的な啓発と実践での注視につなげている。虐待等の疑いや事例が察知された場合は区の子ども家庭支援センターなど関係機関と連携し、適切な支援を行う体制を整えている。</p>		

サブカテゴリー6		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	11/11
6	事業所業務の標準化		
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうかを点検している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目3 さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している		評点(00000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した支援ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー6の講評			
<p>各種マニュアルの整備・活用や職員会議での注意喚起など、業務水準の確保に努めている</p> <p>事務室に緊急時の連絡通報等、トイレや各保育室には嘔吐下痢時の衛生処理などについて、手順を平明に示すマニュアルを掲示して即時の確実な対応に活かすとともに、事務室に系列園共通の「施設運営業務マニュアル」を常備している。同マニュアルには社会人・保育者としての規範や保育・安全衛生等の標準的な実施手順など、系列全園の職員に共通して求められる基本心得等がまとめられ、各室で日常的に活用する工夫もなされている。また毎月の職員会議でも日常の実践における遵守・禁止事項について、園長から随時注意喚起が行われている。</p> <p>毎月の会議を中心に現場からの反省・提案の共有を行い、種々の改善に活かしている</p> <p>クラス単位での毎月の反省において、安全面を中心に業務実践の振り返りを行っており、会議の記録からは「～が足りなかった」「～ればよかった」など、現場の視点での原因追求・改善提案の経過が随所で読み取れる。この各クラスの反省が職員会議で書面報告され、これをもとに組織全体での反省・検討を行うこととなっている。1歳児室で棚の下のスペースにホワイトボードを設置し、子どもが思いのままに書き込んで遊べるようにするなど、各室の環境や保育活動においても職員の提案が活かされ、保護者の意見も行事などに適宜反映されている。</p> <p>さまざまな学びによる資質向上を図り、日常の安全点検など危険防止の取組も行っている</p> <p>運営事務局による社内研修、区内の他園への見学による参考事例の収集など園外での学びの場とともに、安全衛生面を中心とした園内研修も行われ、リーダー層による日常の現場での指導と合わせ、各職員の能力向上を図っている。また各クラスで所定の点検項目に沿って安全確認を毎月行い、事故リスク軽減を図るほか、夏場のプール遊び開始の前には園作成の手順書を職員に配付して事故防止の心得を確認し、プール実施のつど入水の前にチェックリストに基づく子ども一人ひとりの健康状態把握を行うなど、安全維持にも努めている。</p>			

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		37 / 37	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた援助を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりの発達の過程や生活環境などにより子どもの全体的な姿を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが主体的に周囲の人やものに働きかけることができるよう、環境構成を工夫している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		<input type="radio"/> 非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもの発達課題や配慮事項を詳細に把握・記録し、全体的な姿を共有している</p> <p>児童票(個人発達記録)は0歳児は毎月、1・2歳児は隔月に養護と教育の両面で目標と配慮事項を記載し、子どもの様子を定期的に記録するほか、面談では園と家庭との様子を養護と教育の両面で話し合い、園からの要望や保護者からのご要望も含めて聞き取り、「個人面談表」に記録している。また全年齢で個別の計画を作成しており、クラス会議で子どもの発達課題や配慮事項などを共有するとともに、職員会議においても子どもの発達状況を捉えながら、この発達状況等を踏まえた玩具の環境や遊びの提供へと展開できるようにしている。</p> <p>年齢相互の自然な関わり合いや異文化に触れる機会を設けている</p> <p>専門講師による「ドラキッズ」では英語の歌や言葉などに触れるほか、ハロウィンでは皆で仮装して園周辺を練り歩いたり、親子で各部屋のハロウィンゲームをするなど、外国の文化を知る機会が設けられている。また夕方の合同保育、散歩や行事などでは異年齢で過ごすこともあり、その中で年下の子どもが年上の子どもの生活や遊びに興味を持ったり、まねをして取り組むほか、1・2歳児と一緒に帰りの会をしたり、体操をするなど、ワンフロアの空間を活用しながら、自然な関わりがもたらされ、年齢相互の育ち合いにつながっている。</p> <p>個別や集団においても、子ども一人ひとりへの適切な配慮に努めている</p> <p>スクールカウンセラーが定期的に園に来訪し、今後の見通しや必要な助言等を得られ、会議等で全体に周知することで合同保育等も含めた園全体での子どもへの適切なケアにつなげている。さらに園からの相談体制も整え、保護者との面談などにも協力してもらえるようになっている。子ども同士のトラブルに関しては、仲介ができるようしっかりと見守れるようにしたり、相手の子どもに対して自分の気持ちを伝えるように、心の声を代弁するなどできるようにしながら、少しずつ相手との関わりや言い方などを理解できるようにしている。</p>			

2 評価項目2 家庭と保育所の生活の連続性を意識して保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. お迎え時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2の講評		
<p>送迎時に子どもの様子や健康状態などを保護者と伝え合っている 朝の受け入れ時には子どもの家庭での様子や体調面などを保護者からの聞き取り、職員による視診の状況も含めて「健康チェック及び生活記録」に記録するほか、降園の際の申し送り事項を記載することでクラス内や他の職員への伝達にも活用している。お迎え時一人ひとりの保護者に対応し、その日の子どもの様子を伝えられるようにしている。なお、連絡帳も活用して園と家庭での食事・排せつ・睡眠・生活状況などをやり取りするほか、週1回程度更新される園ブログや玄関での写真掲示など、日々の活動や子どもの姿がより伝わりやすいように工夫している。</p> <p>子どもを見守り、意欲を高めながら、無理なく自立へとつなげている 基本的な生活習慣の自立に向け、子どもが無理なく、意欲的に取り組めるように、職員が待つことや見守る姿勢を心がけ、家庭と連携を図りながら、徐々に進められるようにしている。靴箱や棚には個人のマークを付けたり、トイレにはベンチを設置して、自分で取り組めるように工夫するほか、1歳頃から少しずつトイレの空間に慣れるように、声かけをしたり、意欲を高めながら排せつの自立へとつなげている。また2歳児室には箸の持ち方等のイラストも掲示し、子どもの発達状況に応じて、スプーン・フォークから箸へと少しずつ移行できるようにしている。</p> <p>個別の生活リズムや体調等を考慮してゆったりと眠れるようにしている 集団生活を大切にしながらも、子ども一人ひとりの生活リズムやその日の体調等に配慮して休息・睡眠がとれるようにしている。各部屋では睡眠のスペースを確保し、コットを使用するほか、静かなBGMをかけ、職員がそばで身体をさするなど、子どもが安心してゆったりと眠れるようにしている。また顔が見える程度に室内の明るさを調整し、0歳児は5分、1・2歳児は10分ごとに、呼吸・姿勢・顔色などを確認して所定の様式に記録し、SIDSの予防に努めている。</p>		

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の内容は保育目標を反映して構成されている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもがのびのびと体を動かせるよう、積極的に戸外活動や外気浴等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 【0・1・2歳児のみ受け入れている保育所で、取り組みのない場合は非該当とする】 子どもが集団活動を経験する機会(他の保育所の子どもとの交流など)を積極的に設けている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3の講評

多様な活動を展開し、実体験の中から子どもの心身の発達を促している

「こども相互のかかわりの中で、思いやりを持つ心を育てる」「遊びや実体験の中で、生きる力のある子どもを育てる」などを園の目標に掲げ、戸外遊びでは電車や近くの消防車を見に行くほか、草花の観察から絵本や図鑑を調べるなど探究心へとつなげている。また階段の上り下りや少し遠く距離を歩くことを採り入れたり、近隣施設の芝生の上で思いきり走るなど運動機能を高めている。さらに園内での異年齢での交流で思いやりの心を培い、「ドラキッズ」や食育活動など実体験から興味を広げ、多彩な活動や取組へと発展している。

それぞれの発達に応じた配慮や環境構成の工夫が行われている

0歳児室は発達差・個人差を考慮し、低月齢と高月齢の子どもが安全に遊べる空間を保障し、やわらかい素材や手作りで温かみのある玩具を準備してゆったりと過ごせるようにしている。1歳児室では積み木やブロックなどの構成遊び、ままごとや季節に応じた絵本など、マットや手作りの椅子などで自由にコーナーを設定するほか、棚の下のスペースにホワイトボードを設置し、多種の形を貼り合わせたり、自由に絵等を描けるようにしている。加えて2歳児では絵本やひらがな表、子ども同士や職員等との会話を大切にしながら、興味の発展性が持たられている。

積極的に戸外活動を採り入れ、身近な興味の広がりから活動を充実させている

午前は積極的に戸外活動を採り入れ、身体を動かしたり、自然を体感できるようにしている。また幼稚園が活用する一体型施設内にあるビオトープや田んぼ・畑などでの幼稚園児が栽培等に取り組む姿を見たり、子どもたちもビオトープに出て木々の移り変わりを感じながら木々や葉などに触れるほか、四季折々の動植物を観察し、絵本や図鑑で調べたり、疑問に思ったことを質問するなど、探求心を高めるとともに、言葉のやり取りを楽しむことにもつなげている。さらに図書館にも出かけて本を借りるとともに、公共のマナーを知るなど社会性も育んでいる。

4 評価項目4 行事等を通して、日常の保育に変化と潤いを持たせるよう工夫している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもが興味を持ち、自ら進んで取り組めるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 行事等を行うときは、保護者の理解が得られるような工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目4の講評		
<p>日頃の興味等を採り入れ、子どもが期待感を高め、親子で楽しめる行事を行っている</p> <p>日頃の子どもの興味や遊びと行事とのつながりを大切にしながら、保護者も一緒に参加や体験できる行事の充実がなされている。ハロウィンでは皆で仮装して、各部屋でゲームをしたり、園周辺を練り歩くほか、夏祭りではお店屋さんごっことして子どもが模擬店の作品を準備したり、当日も制作コーナーやゲーム、盆踊りなど夏ならではの雰囲気を親子で楽しんでいる。さらに運動会では親子競技や全体での遊戯・体操などを行ったり、クリスマス会でも劇遊びや歌等を披露するなど、日頃の遊び等を採り入れ、子どもの成長を保護者と共有できるようにしている。</p> <p>年間を通じて多彩な行事を展開し、保護者に理解を得られるように工夫している</p> <p>一年を通じてさまざまな行事があり、子どもの日・七夕会・豆まき・ひなまつりなどで季節や伝統文化を味わうほか、交流遠足など戸外で季節を感じながら身体を動かして遊んだり、ハロウィン・クリスマス会などでは行事にちなんだ親子クッキングも体験できるなど多彩に展開している。これらの行事に関しては、各便りや園ブログで開催前後の子どもの様子を伝えるとともに、随時お知らせを出して行事の意図等も伝えながら保護者の期待感も高めている。なお、年度当初に年間行事予定を配付し、保護者が参加しやすいよう配慮をしている。</p> <p>社会資源を活かしたさまざまな人との交流があり、子どもの生活の幅を広げている</p> <p>幼稚園・小学校など社会資源に囲まれた環境を活かし、特に1・2歳児が中心として児童館を使用し、地域の子どもと遊ぶこともできるようになっている。また幼稚園の行事に招かれ、お月見会で幼稚園長から由来を聞いたり、大型絵本の読み聞かせがあるなど、年上の子どもの交流が行われている。さらに敬老の日会には祖父母を招き、子どもの活動する姿を見てもらうほか、一緒に歌を歌ったり、ふれ合い遊びをするなど、子どもが職員以外の人との関わりによって生活の幅が広がっている。</p>		

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保育時間の長い子どもが、くつろげる環境になるよう配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの様子を確実な方法により職員間で引き継いでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. お迎え時には、子どもの日中の様子(担任からの引き継ぎ事項等を含む)を保護者に直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目5の講評		
<p>朝夕の時間帯においても職員間の引継ぎによって保護者へ伝達漏れのないようにしている</p> <p>早番担当が受け入れ時に保護者とのやり取りをして、把握した情報を「健康チェック及び生活記録」や職員連絡ノート等に記録し、その日の子どもの状況を担任に引き継いでいる。日中の様子は昼打ちで全職員に周知するとともに、担任から遅番担当へ伝達している。これらを踏まえて、お迎え時に保護者へ子どものその日の様子を詳細に伝えることに努めている。また2歳児では毎日担任から子どもに質問し、言葉のやり取りを楽しむとともに、その時の子どもの言葉や思いを記録し、保護者とも共有することで親子での会話の深まりにもつなげる工夫がある。</p> <p>異年齢の子どもがゆったりと過ごしながら、個別や集団でそれぞれ遊べるようにしている</p> <p>ワンフロアの中、棚や仕切りなどで0歳児・1歳児・2歳児とそれぞれの生活スペースを区切り、活動内容によっては1・2歳児の部屋を相互に活用できるようにしている。朝夕の時間帯には人数や状況に応じて合同で過ごしており、子どもの希望等に沿ってコーナーを柔軟に設定し、異年齢でブロックやままごとなどで一緒に遊ぶほか、絵本を読んでゆったりと過ごしたり、個別で遊べるような玩具も提供して遊びに集中できるようにしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 保育所の食育に関する取り組みを、保護者に対して伝える活動をしている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目6の講評		
<p>旬の食材を採り入れ、メニュー等の工夫によって、子どもが食を楽しめるようにしている 献立は旬の食材を使用し、さまざまな味覚を体験できるようにするとともに、行事食や誕生のケーキなど特別なメニューも提供している。0歳児は子どものペースに合わせて意欲的に手づかみでも食べられるようにするほか、1・2歳児でも職員がそばについて意欲を高められるような声かけをし、子どもが食事を楽しめるようにしている。またハロウィンでは行事にちなんだクッキー作りをしたり、クリスマスでは調理器具を使ってホットケーキを作り、トッピングをするなど、親子で一緒に取り組み、食を楽しめるように工夫がなされている。</p> <p>食物アレルギーや離乳食など個別状況に応じた食事提供の配慮に努めている 食物アレルギーの場合は、医師の診断書や入園時の面談等で詳細を確認し、それを踏まえて除去食を提供している。当日は調理・配膳・介助などそれぞれの担当者間でチェック表を用いて、提供される食事の除去内容等を確認するほか、別トレイで職員がそばについて見守るなど、誤食・誤配膳の予防に努めている。また離乳食の提供にあたっては会議で園での進行状況や子どもの咀嚼等や発達の状態を話し合い、家庭との連携もしながら、子ども一人ひとりの状況にそって無理がないように進めている。</p> <p>栄養士と連携した多彩な食育活動を行い、写真等を活用して保護者へ積極的に伝えている 食育テーマを掲げ、食への興味・関心に広がりを持たせ、子どもが食べる意欲を持てるようにしている。身近な食材に触れたり、調理の手伝いをするほか、調理器具を使ったクッキングなど年齢等に応じた食育活動が行われている。また米の炊き具合や魚の三枚おろしをする様子を観察して好奇心を高めるほか、観察画や野菜スタンプなどの表現活動にもつながっている。さらに三大栄養素の分類をしたり、クイズ形式で該当する食材等に答えるなど、栄養士と連携した多彩な活動が展開している。これらの様子は写真掲示や各便りで保護者へ積極的に伝えている。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. けがや病気を防止するため、日頃から身の回りの危険について子どもに伝えている	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに対し、専門機関等との連携に基づく支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者に対して感染症や乳幼児突然死症候群(SIDS)等に関する情報を提供し、予防に努めている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>子どもに日々の生活や場面ごとでの危険予防や健康促進などをそのつど伝えている</p> <p>年間保健計画には月ごとの目標や内容などを記載し、各指導計画に反映して生活の中で健康の維持・向上ができるようにしている。むし歯予防デーに歯磨きの大切さを知るほか、うがいや手洗いなどは戸外活動後など生活の場面ごとで日々取り組み、自然と身につけられるようにしている。戸外活動では手をつないで歩くことや交通マナーを都度知らせるほか、公園でも遊具の使い方や遊びの約束ごとなどを子ども達に伝え、安全面に配慮できるようにしている。なお、2歳児は避難時の4つの約束を掲示し、毎月の避難訓練でも意識付けがなされている。</p> <p>嘱託医と連携した子どもの健康管理にあたり、万が一の体制も園内で整えている</p> <p>日々の送迎時に保護者からの伝達や連絡帳の確認、職員による視診などで子どもの健康状態を把握し、「健康チェック及び生活記録」やホワイトボードに記載してクラス内での共有を行っている。また嘱託医による定期的な健診が行われ、その結果を保護者に伝えるほか、日常的な連携体制も整えている。その他にも各クラスのヒヤリハットの掲示によって危険防止の意識付けをしたり、園内研修で保健や安全に関する研鑽を図るほか、プール実施時には安全配慮事項を確認したり、緊急時の関係機関への連絡先を明示するなど、万が一の対応に備えている。</p> <p>衛生的な環境を保てるようにしながら、感染症予防に向けた情報発信に努めている</p> <p>玄関には手指消毒液を常備し、入室者への使用を励行しているほか、衛生処理した水の噴霧や毎日の0歳児の玩具消毒など、衛生的な環境を保てるように配慮している。入園時には「入園のしおり」をもとに園生活での健康管理などの留意やSIDSの予防などの情報を発信するほか、各便りで時期ごとに発生しうる感染症や保健に関する情報を保護者に随時伝えている。園内で感染症が発生した場合は、発生状況や症状などを掲示し、蔓延防止への注意喚起を行っている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して接している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 保育所の保育に関して、保護者の考えや提案を聴く機会(運営委員会など)を設け反映させている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 子どもの発達や育児などについて、懇談会や勉強会を開催し、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目8の講評		
<p>子どもを中心に園と保護者が日々コミュニケーションを図り、育ちの共有に努めている</p> <p>毎日の保護者との口頭でのやり取りや連絡帳の取り交わしから、担任や夕方担当の保育士が子どもの状況や育児・発達面で気になることなどを随時把握し、個別の支援に活かしている。また2歳児は保育者が子ども一人ひとりに毎日三つの問いを投げかけ、発達に応じてそれぞれの自由な発想から発せられる答えや言葉を記録し、お迎えの際に保護者に伝えることで、その時々の子どもの興味や感情を共有できるようにするほか、園長からも送迎時などに積極的に声をかけ、不安や悩みをなるべく早めに把握し、話し合いの機会づくりにつなげるよう努めている。</p> <p>さまざまな交流機会を園と保護者の共通理解や保護者同士の親睦につなげている</p> <p>保護者会では年齢ごとの発達の姿や園の保育などについて保護者に伝えるとともに、保護者同士の交流によって親睦を深める機会としても活かしている。クラスにより資料も配付して保護者の理解が深まるようにし、年度末にはビデオ等も活用してより具体的に子どもの園での様子を伝え、進級にあたっての見通しも伝えることとしている。またプロの声優の方が絵本を子どもたちに読み聞かせる「おはなし玉手箱」を開催し、地域の親子とともに在園世帯も招待して、親子で絵本の世界に親しみ、子どもの豊かな情操が培われるようにしている。</p> <p>園の保育や子どもの毎日を保護者が具体的に知ることのできる取組を行っている</p> <p>園のブログを毎週のサイクルで更新し、日頃の室内外での各種活動や行事などの模様を写真とともに伝えるほか、「楽習保育」の活動や食育の取組などについて、玄関ほか室内各所での掲示やホワイトボードでの発信により、写真に保育者のコメントを添えて伝えることで、送迎時などに保護者が見て毎日の子どもの生活の一端に触れられるようにしている。また夏季には保育参加を実施し、保護者が各年齢の日常の活動を体験しながら、クラス内の他の子どもに関わることで子育てや子どもの発達などに対する見識も深まるようにしている。</p>		

9 評価項目9 認証保育所の特性をいかした取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 異年齢児との生活の中にあっても、年齢や一人ひとりの発達にあった援助を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 新たに入所した子どもと、すでに入所している子どもが安定した関係を築けるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 契約や更新の機会をとらえ、保護者と緊密に連携しながら保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目9の講評		
<p>保護者との密なコミュニケーションを図りながら、きめ細やかな配慮に努めている</p> <p>年度当初の契約更新・進級の機会にも園の重要事項などを説明をするほか、保護者会でも年齢ごとの発達の姿や園の保育などについて子どもの様子を伝えることで園生活の安心感を持てるように配慮している。また園長も積極的に保護者へ声をかけ、不安や悩みをなるべく早めに把握できるようにし、必要な支援や話し合いへとつなげるほか、日々の送迎時の会話や連絡帳の記載など職員と保護者とのコミュニケーションの中で、保護者の個別状況も含めて子どもの様子を伝え合いながら、きめ細やかな配慮ができるように心がけている。</p> <p>集団生活の中でも子ども一人ひとりの状況把握と必要な支援にあたっている</p> <p>全園児に個人別の月指導計画を作成するとともに、子どもの状況を定期的に把握するほか、職員会議や「昼打ち」などさまざまな機会を通じて、職員間の意見交換や情報伝達に努め、非常勤も含めて園全体で子ども一人ひとりへの配慮や援助ができるようにしている。ワンフロア環境の中、棚等で各クラスに分けて生活をしているが、合同保育や散歩、行事や栽培活動などで異年齢での取り組むこともあり、一緒に遊んだり、活動をともにに行いながら、自然と子ども同士の関わりから年上の子どもの真似をしたり、お世話するなど、相互の育ち合いが培われている。</p> <p>日々の生活の中で新入園児と在園児とのスムーズな関わりに配慮をしている</p> <p>新入園児にはまずは園の生活や空間に慣れるよう、入園後にも保護者との会話を密に図り、子どもの特性や好きな遊びなどを日常生活の中で活かすほか、園内でも職員会議等で情報共有を図りながら、園全体で子ども一人ひとりの状況に応じた配慮に努めている。また在園の子どもには朝の会等で新入園児を紹介するほか、職員が新入園児の名前を呼んだりする中で在園の子どもが自然と名前を覚えたり、遊びの中で子ども同士が交流できるように促すなど、新入園児と在園児とのスムーズな関わりに配慮をしている。</p>		

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもの発達状況等を踏まえた環境や活動の充実などさまざまな工夫がなされている	
内容①	子どもの状況を職員間で密に情報共有を図り、発達状況等を踏まえた玩具の環境や遊びの提供へと展開できるようにするほか、1・2歳児の睡眠環境を見直し、一人ひとりのスペースを確保して睡眠や生活リズムの安定を図り、災害時の迅速な避難を考慮して昼寝時のパジャマ着用をなくすなど、環境や生活・安全面でも工夫がなされている。さらに栄養士と連携した食育活動から日々の保育へのつながりを大切にし、米の炊き具合や魚の三枚おろしをする様子を観察して好奇心を高めるほか、観察画や野菜スタンプなどの表現活動へも発展させている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル②	保護者と理解や思いをともにして子どもの育ちを支える工夫に努めている	
内容②	各クラスで随時展示される子どもたちの作品は送迎時などに保護者の心を和ませ、保育参加では保護者がその日の保育活動を楽しみながら、園の取組や子どもの発達などについて実体験を通じて理解することができるようにしており、今年度は実施期間を延ばして保護者の日程調整に配慮し、全世帯の参加につながっている。また夏祭りや縁日の店番などを手伝ってもらい、運動会でも保護者参加のダンスの練習を兼ねて打ち合わせを行うなど、参加機会を積極的に設けて園と保護者、保護者同士のコミュニケーションがより深まるようにしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	1-1-2	経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている
タイトル③	職員の主体性を尊重しながら、組織のさらなる成長に向けた基盤作りにあたっている	
内容③	組織のさらなる成長と各職員の資質向上を園の課題とし、職員の主体性を尊重しながら無理なく向上できるようにしている。「1年間の目標発表」として常勤職員一人ひとりに保育に携わる者として、あるいは一個人・社会人として、自らの行動を振り返り、今後の取り組むべき課題を年間を通じて意識させ、その後の成長へとつなげようとしている。さらに各クラスの毎月の会議で職員の意見を踏まえてさまざまな業務の見直し・反省を行うほか、職員会議ではその共有とともに、子どもや保護者への接遇をはじめとする職員の基本的な心得の再確認が行われている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	周辺環境を活かした多彩な活動や交流が行われ、子どもの興味を広げ、さまざまな育ちへとつなげている
	内容	幼保一体型である周辺環境を活かし、幼稚園の園庭ピオトープで四季折々の自然物を見たり、触れたりできるようになっているほか、図書館や児童館等も活用して公共の場所でのマナーを知ったり、遊びの充実が図られている。また幼稚園の行事に招かれ、年上の子とも達との交流が行われたり、幼稚園児が畑や田んぼで行う栽培・収穫などの活動を観察するなど、成長への期待感を高めている。さらに年齢ごとの発達に即した「楽習保育」や食育活動など、遊びや生活の中での実体験を通じて、子どもの興味を広げ、さまざまな育ちへとつなげている。
2	タイトル	外部の専門資源も活用し、小規模園ならではの子ども一人ひとりの発達の細やかな把握と状態に応じた成長支援に取り組んでいる
	内容	入園前後において保護者との連携を密に図りながら、園と家庭での子どもの状況を把握し、関係職員全体での情報共有に努めるとともに、個別指導計画の作成や定期的な児童票等への発達経過記録によって、子ども一人ひとりに応じた成長支援を担保している。また区のスクールカウンセラーとして来園し、虐待予防等の視点も含めた個別の発達支援が図られるとともに、運営事務局の保育アドバイザーによる保育の環境・活動両面からの助言も得るなど、外部のさまざまな資源も活用した子どもたちへの支援の充実に努めている。
3	タイトル	職員の提案を積極的に募り、活かしながら、保育の実践・環境の向上とともに、組織の活性化にもつなげようとしている
	内容	各室の環境や日頃の保育・行事などにおいて、職員の意見を積極的に募り、保育の質を随時向上させるよう努めており、保育者が子どもに問いかけて得られた発想豊かな言葉を保護者とお迎え時に共有したり、室内のスペースを有効に活用して子どもが遊び込める環境をつくる工夫など、さまざまな取組が見られる。また毎月のクラス会議でも安全面を中心に課題の抽出や改善策の検討のための振り返りがなされており、これらの取組が現場の主体性の発揮にもつなげ、各職員が自ら気づき、改善に取り組める風土づくりにもつなげられている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	「子どもの育ちの連続性」を中心に置いた、幼保一体化施設としてのさらなる機能発揮に向けた関係機関との連携強化を課題としている
	内容	当園の保育課程や各種指導計画を踏まえて保育を展開しており、連携する幼稚園の教育計画も確認したうえで、これとのつながりも意識できるようにしている。一方で幼保一体的な運営がなされつつも、現状の2歳児までの目指す子どもの姿と進級後の幼稚園の3歳児の指導の重点には一部さらなる整合が望まれる点も見出されている。2歳児の進級時の接続をより深めるため、担当者間の意見交換や協議を重ね、検討を進めており、乳児から就学前までの発達の連続性を踏まえた各種計画との整合が図れるよう、さらなる取組の継続と結果が期待される。
2	タイトル	園の課題の解決とより高い成果の獲得に向けて、各期間の計画の策定・実行の仕組みのさらなる精度向上を期待したい
	内容	今年度までの3か年計画に保育の質の向上や人材育成など6項目の重点課題を定め、各項目における今年度の取組を年度事業計画に示している。計画を組織内で共有し、より高い成果につなげる観点から、取組のさらなる具体化や実施時期、目標・完了期限の明確化など、確実な実行と進捗管理を考慮した工夫が期待される。園内の運営体制が今年度改まり、新たな課題も明確になりつつあることから、中・長期的な視点で目指す園の姿をより明確にし、計画的に課題解決に取り組む仕組みを整備することを期待したい。
3	タイトル	子どもの「あったかい心」を育む保育の実践に向けて、組織内の認識共有をより深めるための職員への啓発を継続的な課題としている
	内容	組織全体で考え方や実践手順を共有し、保育をはじめとする各種業務の質を恒常的に高めるべく取り組んでいる。とりわけ子どもへの接遇の向上を組織としての重要なテーマとしており、会議での随時の指導など、継続的な啓発に努めている。訪問調査時にはさらなる認識の共有が望ましいと思われる場面も一部見られているが、職員の自発性や自ら気づき、振り返ろうとする意識をできる限り尊重する園長の育成方針とも相まって、取組が今後さらに実を結び、園の目指す「あったかい心を持つ子どもに育てる」保育の実践がさらに深められていくものと期待される。